

報道から見る郵便局の「改革」 資料

資料1 JR北海道・近年の事故等

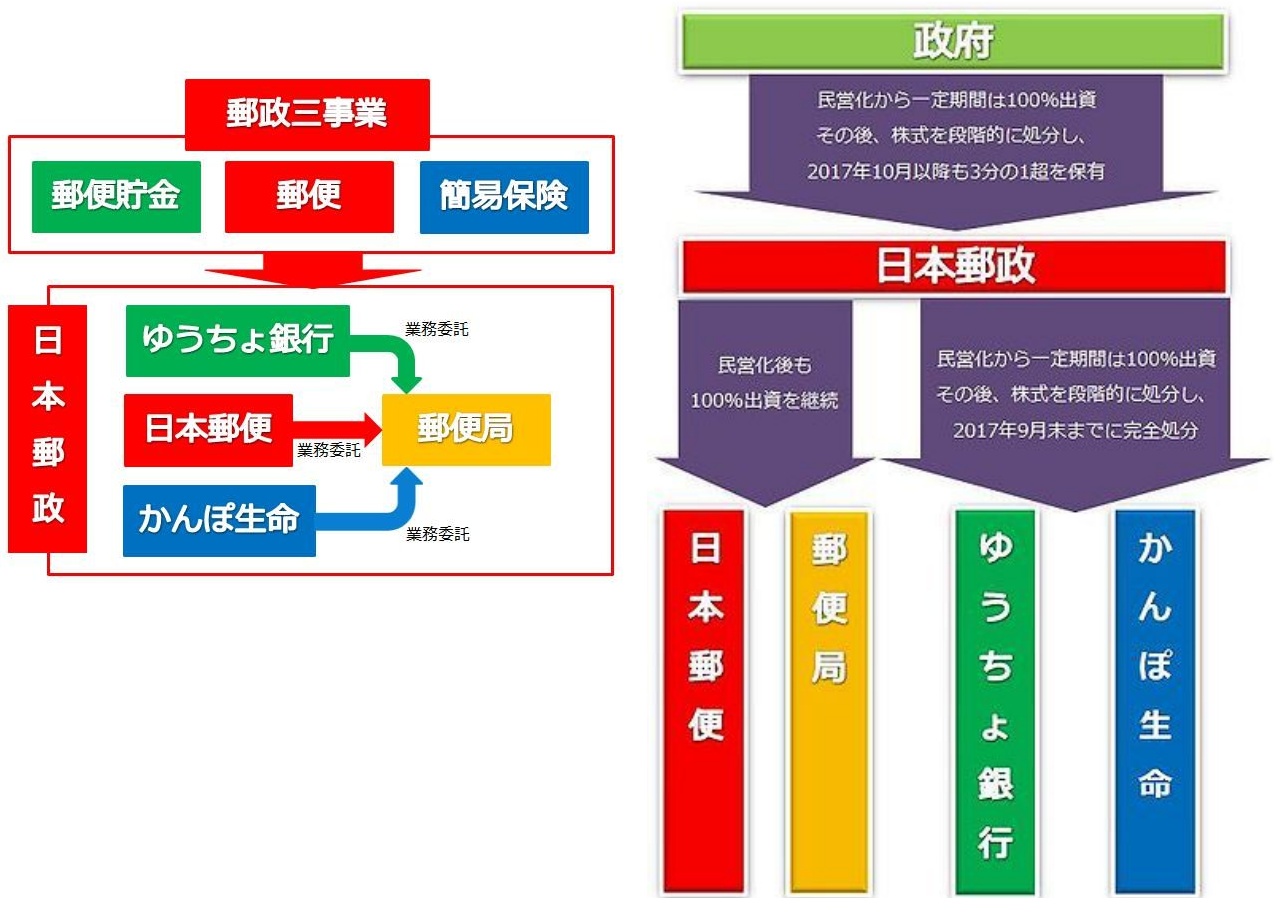
- 2011年5月27日 石勝線「スーパーおおぞら」、トンネル内で脱線全焼
 - 2011年6月6日 室蘭本線「スーパー北斗」、潤滑油漏れ白煙
 - 2012年9月21日 石勝線「スーパーおおぞら」、配線ショートで発火
 - 2013年3月24日 函館本線「北斗」、床下から発煙
 - 2013年4月8日 函館本線「北斗」、エンジン発火
 - 2013年5月5日 函館本線「スーパーカムイ」、車軸付近で出火
 - 2013年7月6日 函館本線「北斗」、エンジン出火
 - 2013年7月15日 千歳線「スーパーおおぞら」、配電盤出火
 - 2013年7月22日 根室本線「スーパーとがち」、潤滑油漏れ
 - 2013年7月30日 運転士、覚せい剤使用容疑で逮捕
 - 2013年8月9日 函館本線、集中豪雨で地盤流出
 - 2013年8月17日 函館本線、8月9日と同じ箇所での地盤流出、貨物列車脱線
 - 2013年9月7日 函館本線「北斗星」、運転手がATS壊す
 - 2013年9月19日 函館本線、レール幅異常を1年間放置で貨物列車脱線
- *87年の分割民営化当時、社員1万4000人→現在7100人、特に40歳代が異常に少ない

資料2 郵政民営化の経緯

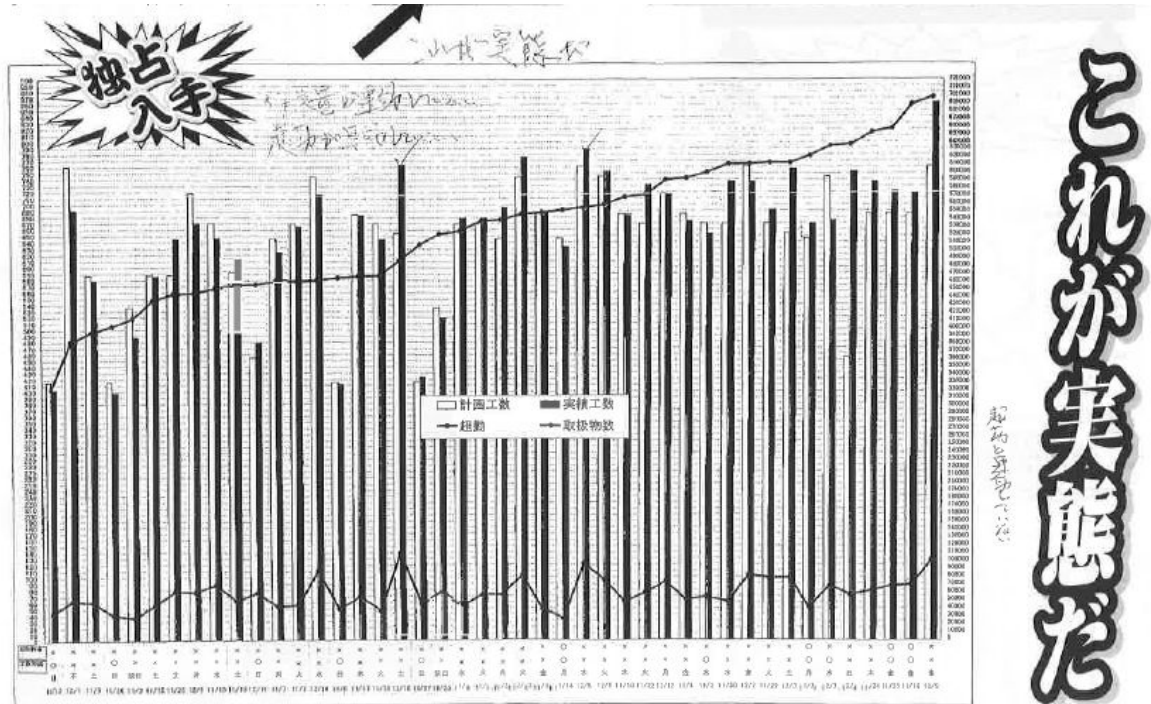
Wikipedia より

- 1996年 第1次橋本内閣「行政改革会議」で中央省庁再編の議論
- 1997年8月 中間報告で郵政民営化が初めて政府報告に
ただし、最終報告では郵政三事業は国営を維持、国家公務員の公社とする
- 1995年5月 超党派「郵政民営化研究会」 会長：小泉純一郎 事務局長：松沢成文
- 2001年1月 中央省庁再編で郵政省→総務省（郵政企画管理局・郵政事業庁）
- 2003年4月 郵政事業庁→特殊法人・日本郵政公社発足
- 2005年7月 郵政民営化関連法案、衆議院で可決（5票差）
- 2005年8月 法案、参議院で否決（多数の自民党議員が造反）→郵政解散
- 2005年10月 郵政関連法案、可決・成立
- 2007年8月 民主・国民新・社民が「郵政民営化凍結法案」提出（1年凍結）→廃案
- 2007年10月 日本郵政グループ発足 一郵政民営化一
日本郵政+郵便局、郵便事業、ゆうちょ銀行、かんぽ生命保険の5社体制
- 2007年 国民新・社民・民主「郵政民営化凍結法案」再度提出（株式売却3年凍結）
- 2008年12月 →衆院与党の反対多数で否決
- 2009年2月 麻生の「賛成でなかった」発言。

- 2009年8月 民主、社民、国民新、総選挙の共通政策として郵政民営化見直し
- 2009年12月 郵政株売却凍結法案、可決・成立→ゆうちょ銀行、かんぽの株式上場・売却は凍結
- 2010年4月 郵政改革関連3法案閣議決定。郵便事業会社+郵便局会社の合併案
→5社体制から3社体制とする案
- 2010年5月 20万人の非正規社員のうち、6万5000人を正社員として採用すると発表
- 2011年10月 郵便事業+郵便局→日本郵政
- 2012年4月 郵政民営化法改正案可決・成立
- 2012年10月 郵便事業+郵便局→日本郵便株式会社（4社体制）



資料3 トヨタ方式JPSの「神話崩壊」(2006年6月/マガジンX)

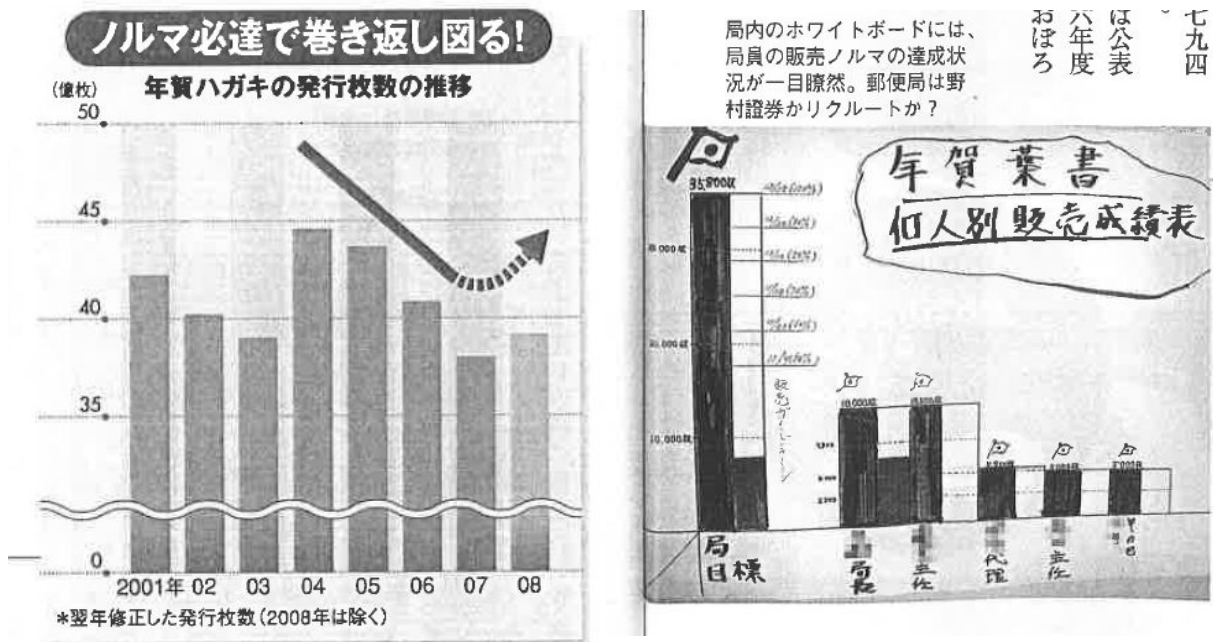


05年11月、システムの検証チームが作成したとされる内部資料。
年末の繁忙期に向けて上の折れ線グラフにある郵便物の取扱物数は右片上がりに増えているが、下の折れ線グラフの超勤時間はほぼ横ばいで、変動していない

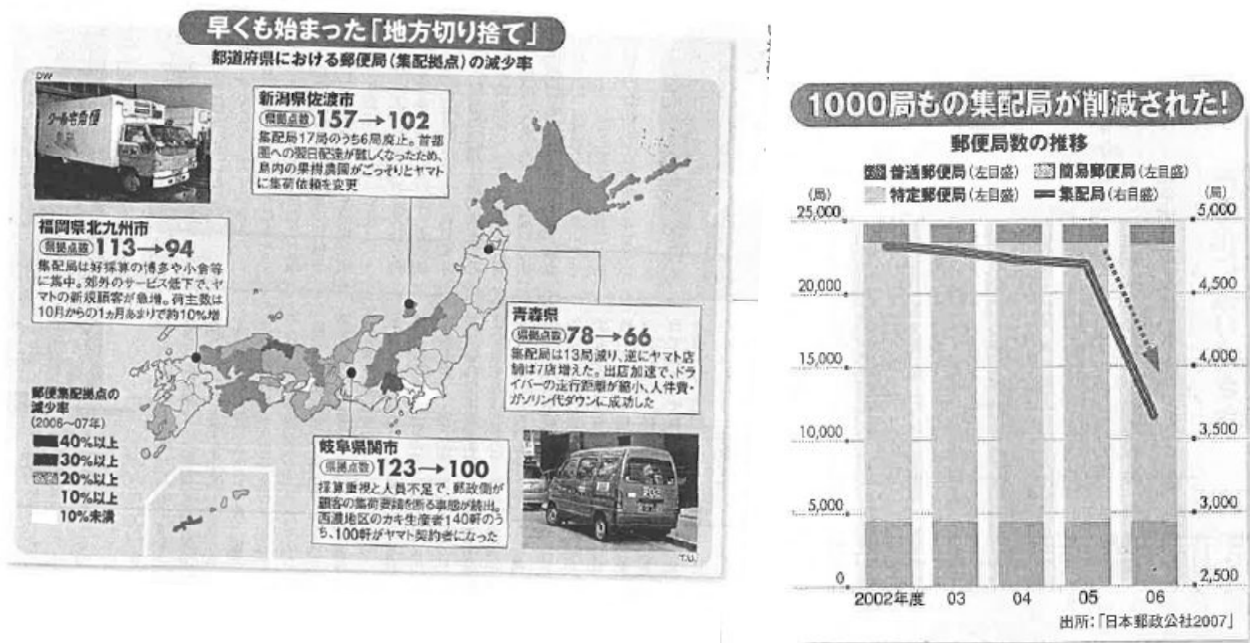
38

「年末に向け郵便物の取扱量は増えているのに、残業時間は変わっていない」

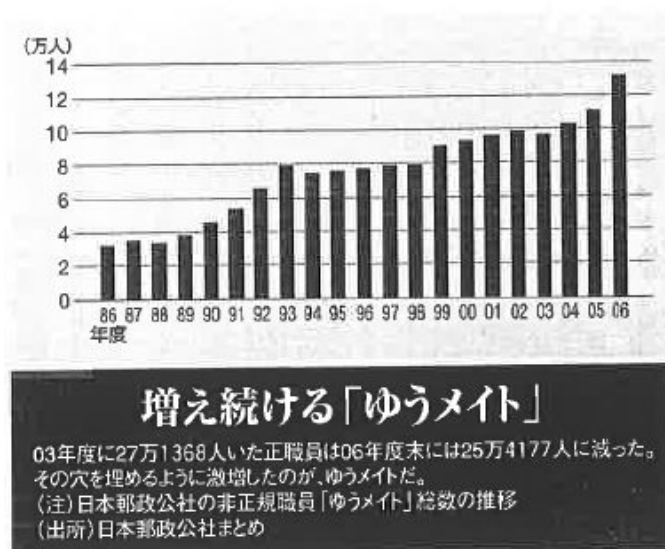
資料4 『郵便局』を信じるな！(2007年12月22日/週刊ダイヤモンド)



資料5 『郵便局』を信じるな! (2007年12月22日/週刊ダイヤモンド)



資料6 『ゆうメイト』の悲哀 (2007年10月6日/週刊東洋経済)



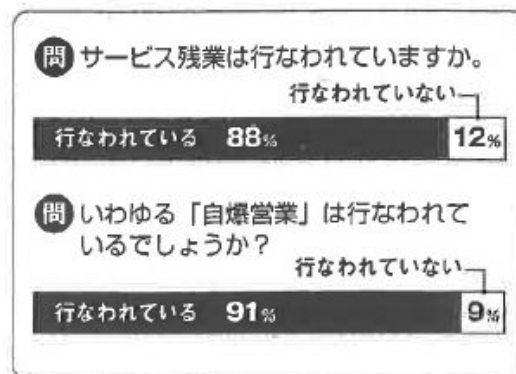
資料7 「過労死・自殺が相次ぐ現場は懲罰地獄」(2009年10月2日/週刊金曜日)

東京支社管内の過労死・自殺者数

	郵便内務	集配	貯金	保険	その他	計
2004年	9	11	1	2	2	25
2005年	8	14	6	3	1	32
2006年	5	4	3	1	1	14
2007年	6	7	0	1	2	16
2008年	5	2	1	1	1	10
2009年	4	1	—	—	—	5
計	37	39	11	8	7	102

※筆者が把握できた件数のみ (2004年2月～2009年5月)
『黙ってられるかい』第18号より

資料8 「民間企業化とは恐怖経営の徹底か」(2007年9月28日/週刊金曜日)



資料9 「コスト削減1000億円の現場」(2007年12月/LOGI-BIZ)

「4S(整理・整頓・清掃・清潔)」を徹底した越谷郵便局の現場



①清掃活動 毎日一定の時間、身の回りの清掃活動を行う「クリーンタイム」、毎週曜日を決めて徹底的な清掃活動を行う「ピカピカの日」を設けている。作業の安全性の向上や事故防止、品質の向上に努めている。
②床面表示でロケーション確保 紙テープによる床面表示で、空きパレットの保管スペースを確保。また、吊りカンバンで、作業場所を明確にしている。誤積載を防止するためだ。これらは随時見直されるという。

図1 日本郵便とヤマトHDのコスト構造の比較

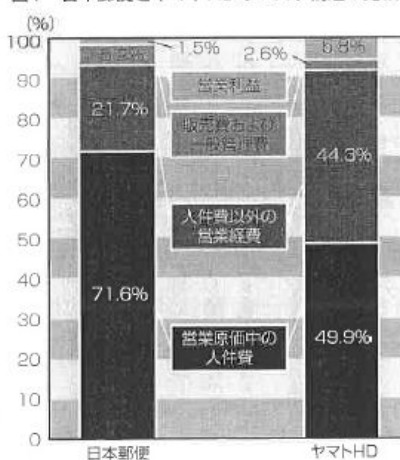


図2 職制別職員数の推移

